

第37期 事業報告書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)



株式会社コンセック



株式会社コンセック

ごあいさつ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第37期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告をかね、ご挨拶申し上げます。

当期における我が国の経済は、IT産業・自動車産業等輸出関連産業が堅調に推移した結果、国内製造業の設備投資も上向きに転じ、金融情勢にも株価上昇等安定感が増し、総じて景気回復への兆しを見せ始めてきました。しかしながら依然として雇用情勢等が厳しいことから一般消費は抑制されました。

当社が関連する業界におきましては、公共事業の削減が続く中、IT産業や流通産業等の一部に民間設備投資の活性化が見られましたが、新規住宅着工件数が低迷する等全体として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社といたしましては、静音・低振動のダイヤモンド切断技術を応用したより安全な解体工法の開発に努め、泥水や粉塵の出ない乾式ワイヤーソーシステムを製品化する等、社会生活の環境保護に適應できる新たな需要の開拓を強化・推進すると共に利益の確保に全力をあげてまいりました。しかし、全体として新規の建設物件の需要は回復せず、一般建設資材等の売上は低迷いたしました。

その結果、売上高におきましては85億79百万円と前期比4億18百万円（4.6%）減となりました。

部門別売上高の概況は次のとおりとなっております。
「切削機具部門」

当期12月に新発売した業界初の乾式ワイヤーソーシステムの拡販が順調に推移する等、切削関連機具の売上は増加しましたが、ブレード・ビット等の切削消耗品が減少し、部門全体では前期比1億51百万円（4.1%）減の35億40百万円の売上高となりました。

「特殊工事部門」

従来からのアンカー工事やジベル工事は減少しましたが、当社の特長であるダイヤモンド切削機器によるコンクリート構造物の解体・切断技術を応用した金属・鉄鋼構造物の解体・切断等の新分野での特殊工事の受注により、部門全体では前期比1百万円（0.1%）増の12億53百万円の売上高となりました。

「建設・生活関連品部門」

家電・OA機器の買替需要や、リフォームの需要に

関連する生活関連機器の売上は順調に推移しましたが、建設資材、機械・工具等の売上減少を補うに至らず、部門全体では前期比2億68百万円（6.6%）減の37億86百万円の売上高となりました。

損益面におきましては、退職者の不補充等をはじめとして徹底した営業費用の削減に取り組みました結果、営業利益は前期比61百万円（177.5%）増の95百万円、また売買有価証券運用益等営業外損益の改善により、経常利益は前期比1億53百万円（373.4%）増の1億94百万円となり、当期純利益は前期比98百万円増の81百万円の黒字となりました。

今後の見通しにつきましては、国際テロや北朝鮮問題等不安定要素はあるものの、中国を代表とするアジア経済の発展に伴い、日本の国内経済も輸出産業を牽引力に緩やかな景気の回復基調に推移するものと見込まれます。

当社といたしましても本年6月に、中国江蘇省南通市にダイヤモンド切削機具生産の子会社を設立し、中国市場の開拓と製品のコストダウンに取り組んでまいります。また、引き続き需要の高い旧来の建築物解体リニューアル分野における技術力を高め、環境ニーズに対応した新製品の開発を強力に推進してまいります。

また、新たに介護サービス事業を展開し、資産の有効活用を図るとともに、高齢化社会のニーズに貢献できる事業の構築を目指してまいります。

運営管理面におきましても、営業部門の統合・集約化をすすめて情報のスピード化と機能性の充実に図り、管理部門においてはより一層の合理化と営業費用の圧縮を推進する等効率経営に徹し、利益構造体質の改善・向上に全力をあげてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年6月

代表取締役社長

佐々木孝隆



貸借対照表

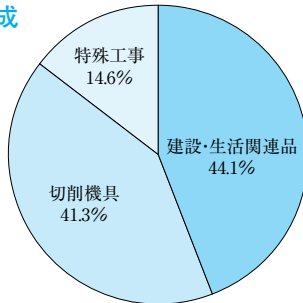
(平成16年3月31日現在)

(単位：千円)

部門別売上高

部門	売上高	構成比	対前期増減率
切削機具	3,540百万円	41.3%	△ 4.1%
特殊工事	1,253	14.6	0.1
建設・生活関連品	3,786	44.1	△ 6.6
合計	8,579	100.0	△ 4.6

部門別売上構成



営業成績および財産状況の推移

区分	第34期	第35期	第36期	第37期
	平成12年4月 ～平成13年3月	平成13年4月 ～平成14年3月	平成14年4月 ～平成15年3月	当期 (平成15年4月 ～平成16年3月)
売上高 (百万円)	11,174	10,197	8,997	8,579
当期純利益 (百万円)	△ 730	△ 242	△ 17	81
1株当たりの当期純利益 (円)	△ 78.39	△ 26.52	△ 1.89	8.84
総資産 (百万円)	15,449	14,037	12,197	12,279
純資産 (百万円)	8,821	8,477	8,359	8,508

- (注) 1. 記載金額 (1株当たりの当期純利益を除く) は、第36期までは百万円未満を切り捨てて、第37期 (当期) より、百万円未満を四捨五入で表示しております。
2. 1株当たりの当期純利益は、
 ①第34期は期中平均発行済株式数により算出しております。
 ②第35期より自己株式数を除く期中平均発行済株式数により算出してあります。
 ③第36期より「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号) および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号) を適用しております。
3. 第34期は売上高の減少および役員退職慰労金等により当期純損失となりました。
 4. 第35期は売上高の減少および有価証券評価損等により当期純損失となりました。
 5. 第36期は売上高の減少等により当期純損失となりました。
 6. 第37期 (当期) より、改正後の商法施行規則により記載しております。

資産の部		負債・資本の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,473,849	流動負債	3,156,249
現金及び預金	663,959	支払手形	1,462,096
受取手形	751,325	買掛金	550,217
売掛金	1,282,927	工事未払金	51,884
完成工事未収入金	193,707	短期借入金	875,168
有価証券	87,428	未払金	32,240
商品	460,790	未払法人税等	31,418
製品	664,192	預り金	37,820
原材料	167,948	賞与引当金	35,000
貯蔵品	25,631	完成工事補償引当金	146
前払費用	21,504	設備支払手形	54,051
関係会社貸付金	16,000	その他	26,209
繰延税金資産	20,177	固定負債	614,788
その他	125,855	長期借入金	409,076
貸倒引当金	△ 7,593	退職給付引当金	179,318
固定資産	7,804,827	役員退職慰労引当金	18,600
有形固定資産	6,413,272	その他	7,795
建物	1,890,643	負債合計	3,771,037
構築物	80,409	資本金	4,090,270
機械及び装置	34,735	資本剰余金	4,351,970
車両運搬具	803	資本準備金	3,551,970
工具器具備品	117,762	その他資本剰余金	800,000
土地	4,288,921	資本準備金減少差益	800,000
無形固定資産	28,815	利益剰余金	181,237
電話加入権	18,322	当期未処分利益	181,237
ソフトウェア	10,493	株式等評価差額金	△ 70,097
投資その他の資産	1,362,740	自己株式	△ 45,742
投資有価証券	376,666	資本合計	8,507,639
関係会社株式	50,896	負債・資本合計	12,278,676
出資金	49,978		
長期前払費用	1,113		
関係会社長期貸付金	41,500		
保険積立金	54,242		
長期繰延税金資産	701,233		
その他	253,471		
貸倒引当金	△ 166,359		
資産合計	12,278,676		

(注) 千円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また合計金額は必ずしも一致しません。

損益計算書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目		金 額	
		内 訳	合 計
経常損益の部	営業収益		8,579,393
	商品製品売上高	7,250,140	
	完成工事高	1,253,114	
	施設賃貸収入	76,139	
	営業費用		8,484,318
	商品製品売上原価	5,396,986	
	完成工事原価	1,207,556	
	販売費及び一般管理費	1,879,776	
	営業利益		95,075
	営業外損益の部		134,060
営業外収益			
受取利息	3,508		
投資有価証券利息及び配当金	18,571		
売買有価証券運用益	80,489		
受取手数料	8,920		
その他	22,572		
営業外費用		35,007	
支払利息及び手形売却損	29,261		
その他	5,746		
経常利益		194,128	
特別損益の部	特別利益		19,975
	固定資産売却益	134	
	投資有価証券売却益	18,491	
	役員退職慰労引当金戻入益	1,350	
	特別損失		2,042
	固定資産売却除却損	1,442	
過年度役員退職慰労引当金繰入額	600		
税引前当期純利益		212,060	
法人税、住民税及び事業税		31,418	
法人税等調整額		99,727	
当期純利益		80,916	
前期繰越利益		100,321	
当期末処分利益		181,237	

(注) 千円未満の金額は、四捨五入で表示しております。また合計金額は必ずしも一致しません。

利益処分

(平成16年6月29日)

(単位：円)

(1) 当期末処分利益の処分	
当期末処分利益	181,237,206
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金 (1株につき3円)	27,456,570
次期繰越利益	153,780,636
(2) その他資本剰余金の処分	
その他資本剰余金	800,000,000
これを次のとおり処分いたします。	
その他資本剰余金次期繰越高	800,000,000

株式の状況

(平成16年3月31日現在)

- ① 会社が発行する株式の総数 14,300,000株
- ② 発行済株式総数 9,320,056株
- ③ 株主数 1,624名
- ④ 大株主

株 主 名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	議決権比率
日本鉱泉株式会社	1,296千株	14.4%	—千株	—%
コンセック従業員持株会	464	5.1	—	—
佐々木 秀 隆	448	4.9	—	—
有限会社オカダ興産	297	3.3	—	—
原 田 主 税	291	3.2	—	—
株式会社損害保険ジャパン	217	2.4	—	—
朝日生命保険相互会社	157	1.7	—	—
西川物産株式会社	155	1.7	—	—
株式会社アライドマテリアル	146	1.6	21	0.0

(注) 当社は自己株式167,866株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

事業所

(平成16年3月31日現在)

名称	所在地
本社	広島市西区商工センター四丁目6-8 TEL(082)277-5451 FAX(082)277-9055
東京支店	東京都江戸川区中葛西三丁目4-4 TEL(03)5696-1323 FAX(03)5696-1336
大阪支店	大阪市西区九条南三丁目25-12 TEL(06)6582-5186 FAX(06)6582-9120
札幌営業所	札幌市東区北26条東六丁目3-18 TEL(011)741-5622 FAX(011)704-1322
仙台営業所	仙台市若林区六丁目の目南町9-38 TEL(022)288-1322 FAX(022)288-1335
横浜営業所	横浜市保土ヶ谷区峰岡町2-332 TEL(045)336-0753 FAX(045)336-0774
名古屋営業所	名古屋市中川区篠原橋通三丁目32 TEL(052)352-8771 FAX(052)352-8770
岡山営業所	岡山市新保1140-6 TEL(086)225-6555 FAX(086)222-4426
広島営業所	広島市西区観音本町一丁目21-2 TEL(082)294-1575 FAX(082)292-8177
高松営業所	高松市郷東町978-2 TEL(087)882-1417 FAX(087)882-8164
松山営業所	愛媛県松山市山越五丁目6-26 TEL(089)926-4681 FAX(089)926-3378
北九州営業所	北九州市小倉南区横代葉山3-10 TEL(093)963-2594 FAX(093)963-4715
福岡営業所	福岡市博多区金の隈二丁目18-19 TEL(092)503-5336 FAX(092)503-2723
キャドム店	広島市西区商工センター八丁目9-55 TEL(082)501-3211 FAX(082)501-3212
広島配送センター	広島市佐伯区利松一丁目8-19 TEL(082)927-3660 FAX(082)927-3666
広島工場	広島市佐伯区五日市町上小深川梅ノ木田 TEL(082)927-1877 FAX(082)927-3823

このほか18か所の営業所があります。

会社の概況

(平成16年3月31日現在)

商号	株式会社 コンセック
英文名称	CONSEC CORPORATION
設立	昭和42年11月6日
資本金	40億90百万円
従業員数	261名
主な事業内容	当社はつぎの物品の製造および仕入販売、コンクリート特殊工事ならびに不動産施設の賃貸を行っています。
	[切削機具部門] 穿孔・切断機器 ダイヤモンド切削消耗品 特注機 切削関連機具等
	[特殊工部門] アンカー工事、コアボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事、ジベル工事等
	[建設・生活関連品部門] 建設機械・工具 建設資材 住宅・OA機器 生活関連機器等 不動産施設賃貸

役員

(平成16年3月31日現在)

代表取締役社長	佐々木 秀 隆
取締役	千 田 稔
取締役	岡 田 真 一
取締役	福 田 多喜二
常勤監査役	弘 中 勝 美
監査役	石 井 和 彦
監査役	黒 木 貞 彦

トピックス ●

中国 江蘇省に合弁会社設立

中国・江蘇省南通市にダイヤモンド切削機具生産の子会社「南通康賽克工程工具有限公司」（南通コンセック）を6月に設立いたしました。

新会社は、当社が60%、その他協力会社4社が40%資本参加し、資本金約5,500万円。江蘇省南通市の工業団地内に新設した工場は、2階建・一部3階の延床面積約2,700㎡、当初はスタッフ10人体制で、ダイヤモンド切削機具の主力商品でありますコアードリルの生産・販売を行ってまいります。



株式のご案内

決算期	3月31日
定時株主総会	6月に開催
同総会権行使株主確定日	3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞 決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、当社ホームページ (http://www.consec.co.jp) に掲載しております。
名義書換代理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 TEL (06) 6229-3011 (代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
単元未満株式の買取請求および買増請求	単元未満株式の買取請求および買増請求は、上記名義書換代理人事務取扱場所および取次所にて受付けております。また、株式会社株券保管振替機構をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出下さい。

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話 (通話料無料) 0120-24-4479 (本店証券代行部)
0120-68-4479 (大阪支店証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>